

2024-2025年度国際ロータリーのテーマ



2024-2025年度国際ロータリー第2690地区のスローガン

未来への架け橋をつくらう

2024-2025年度岡山北ロータリークラブのスローガン

仲間との経験を増やそう

2024~2025年度 Rotary Club of Okayama North

# Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ  
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室  
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288  
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp  
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山  
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

## 理事・役員

2024.7~2025.6

会長(理事)	高橋	橋田	茂	樹
副会長(理事)	橋	田	歳	行
幹事(理事)	牧	本	太	郎
副幹事	堀	川	洋	子
会計	堀	原	孝	則
S.A.A.(理事)	安	田	稜	人
副S.A.A.	吉	波	佳	那

会員増強・退会防止(理事)	中	山	賢	太郎
広報(理事)	宮	井	宏	三
奉仕プロジェクト(理事)	永	山	幸	己
ロータリー財団(理事)	馬	場	雅	宏
親睦活動	正	保	三	倫
プログラム	廣	野	景	治
直前会長	高	本	達	也
次期会長		島	浩	浩

モバイルサイトへのアクセスはQRコードをご利用ください。(岡山北RCホームページ)



### きょうのプログラム

「カンボジア国際奉仕事業報告会」

### 次回3月18日のプログラム

「PETSの報告」

## 3月のお祝い行事

会員誕生日：堀川、磯島(慈)、小野、杉山、坪井君  
結婚記念日：青木、伊藤、砂田、杉山君

## 前回2月25日の例会記録

### 出席の状況

会員数 53名 (出席免除者0名)  
出席者数 33名  
欠席者数 20名  
出席率 62.26%  
2月ホームクラブ平均出席率 61.63%

## スケジュール

### 3月 水と衛生月間

8(土)~9(日) PETS (ANA ホテル米子)  
11(火) 例会取消し (定款第7条第1節)  
18(火) 12:30~例会：PETSの報告  
25(火) 19:00~岡山北RC・総社RC・岡山北西RC  
合同花見夜間例会 (岡山城)

### 4月 環境月間

1(火) 12:30~例会  
13:40~第10回理事役員会  
8(火) 12:30~例会  
15(火) 12:30~例会  
22(火) 12:30~例会：地区研修・協議会の報告①  
29(火) 例会取消し (定款第7条第1節)

本日のメニュー：ヘルシーランチ (和食)

次回のメニュー：洋食

## 会長挨拶



先ずは、先週の創立夜間例会では、親睦活動委員会、ひな壇メンバーには大変お世話になりました。良い例会になったと嬉しく思っています。パートナー参加型の夜間例会で、お子様参加型の例会は多くの皆さまに参加いただけるのですが、そうでない例会は、年々パートナーの参加が少なくなっているように感じます。今年は、もう無いのですが、来年以降、課題として取り組んでいかなければと思った次第です。

今日は、ひな壇くらいしか知らない情報を皆さんに提供させていただきます。

まずは、6RC事務局運営会議です。岡山北からは岸本直前会長に参加していただいています。事務局員さんが、安心して楽しく働いていただく環境をつくる事を目的としています。毎年、年3回くらい開催予定です。

昨今、物価の上昇が激しくなっています。グランヴィアさんからも来期より値上げ要請がきています。これは仕方がない事だと理解しています。昼の例会分で年間70万円くらい上がりそうです。対処としては、会費を上げるか、事業費を削るか等をしなくてはなりません。そういう時代になっている事をご理解ください。

2月22日土曜日の岡山北RCゴルフコンペは雪の為、中止になりました。寒波も今日までと聞いています。

本日は、皆木会員、山本和秀会員のスピーチです。楽しみに聞かせていただきます。本日も宜しくお願い致します。

## 幹事報告

1. 先週の創立記念夜間例会には多くの皆様にご出席いただきありがとうございました。
2. 3月より例会の出欠確認表を回覧させていただきます。お手数をお掛け致しますが回答欄にご回答くださいますようお願いいたします。
3. ハイライトよねやま Vol.299、コーディネーターNEWS3月号、他クラブ週報を回覧いたします。



幹事報告

## S.A.A.

高橋君：皆木会員、山本和秀会員のスピーチ楽しみにしています。

本日も宜しくお願い致します。

牧本君：皆木会員、傘寿おめでとうございます。

山本和秀会員、喜寿おめでとうございます。

本日はよろしく願いいたします。

戸川君：お誕生日のお祝いありがとうございました。傘寿を迎える皆木会員、喜寿を迎える山本和秀会員おめでとうございます。スピーチ楽しみにしております。

渡辺君：2月23日(日)に米山記念奨学生、歓送会に出席してきました。本学年度においては、11名の奨学生が学校を卒業し、修了証が贈呈されました。修了した奨学生の輝ける未来を祈念して。

宮井君：皆木さん、山本先生のスピーチを楽しんでいます。

磯島(慈)君：皆木さん、山本和秀さん、本日、傘寿と喜寿を迎えてのスピーチ、よろしく願い致します。

谷本君：23日(日)初めてのマラソン、総社吉備路マラソン10kmに参加し、制限時間90分の所、81分で完走できました。

練習では90分を切れませんでした、本番で達成できて良かったです。

山本君：喜寿のスピーチをさせていただきます。



出席報告



スマイル報告

## 委員会・活動報告



ロータリー情報委員会 委員長 岸本 達也 会員

第2回IDM開催の案内

日時：令和7年3月15日(土) 19:00~21:00

場所：高田屋 岡山駅前店

会費：3,000円



雑誌委員会 副委員長 戸川 茂宣 会員

ロータリーの友2月号の紹介



プログラム委員会 副委員長 磯島 慈海 会員

スピーチ・卓話の募集

本年度の例会プログラムにつきましては、外部の「よきことをせむ」方々の卓話と、クラブ会員の皆様のお仕事のPRやボランティア活動などのスピーチの場としております。

現在、プログラム未定の日程が、4/8、4/15、6/3のみとなりました。

PRスピーチを希望される方、また、紹介したい外部卓話の方がおられましたら、2/28までに、廣野まで連絡をいただけますでしょうか。

## スピーチ

「傘寿を迎えて」

皆木 英也 会員



先日は傘寿のお祝いをいただきありがとうございます。また、本日はお話を  
する機会をいただきありがとうございます。

私は、昭和21年10月4日生まれで、もう少しで数え年80歳になります。現在の  
心境を率直に申しますと、この歳まで大過なく元気で過ごすことができたことに  
満足していますと共に、多くの方々のご支援を感謝しているところです。

今日は、私が生きてきた時代の流れ、その道のり、そして、長生きができた要  
因について、時間も限られていますので概要をお話します。私が生まれたのは終戦の翌年で、連合  
国の占領政策が始まっていました。戦後の食糧難、ベビーブーム、高度経済成長、バブル経済、バブ  
ル崩壊、デフレ不況など激動の時代を生きてきました。また、治安面では、日米安全保障条約締結を  
めぐる反対闘争や極左暴力集団の学園紛争など国内が騒然とした時代もありました。

このような時代の流れの中で、学生時代に野球、陸上競技で身体を鍛え体力には自信があったこと  
から、身体を使い社会貢献できる仕事という思いで警察官を志望しました。

昭和40年4月に岡山県警察学校に入校し1年間、柔道、剣道、逮捕術などで心身ともに鍛えられました。  
最初の職場は、岡山東警察署の清輝橋交番でした。その後、警察署、警察本部、管区警察局、警察庁  
で勤務しました。41年間の警察官生活では24回の転勤をし、いろんな職場で多くの同僚と出会いました。

警察を退職後、財団法人暴力追放運動推進センターで専務理事として5年、岡山県で服務規律アドバイザーとして2年、学校法人加計学園で危機管理担当として6年勤務しました。現在は加計学園の相談役をしています。

思い出に残る出来事としては、

岡山大学学園紛争で、昭和44年4月12日岡山県警が、封鎖されていた岡山大学津島キャンパスに立ち入ろうとしたところ、学生の投石を受け同僚の機動隊員が殉職する事件が起きたこと。

平成4年4月、暴力団対策法が施行され、浅野組をはじめ指定暴力団に指定したこと。

平成7年1月、阪神淡路大震災の災害警備に従事したこと。  
などがありました。

このように健康で長きにわたって職務に専念できたのは、若い時から鍛え鍛えられた強い身体があったからだと思っています。

今後は「健全な精神は健全な身体に宿る」という格言を信じ健康に留意し、社会貢献に努めていく所存です。皆様のご支援をお願いし、私のスピーチを終わります。

.....

## 「喜寿を迎えて」

山本和秀 会員



この度は、「喜寿のお祝い」有難うございました。「喜寿」の意味について、インターネットで調べてみますと、漢字の「喜」を草書体で書いたときの「崑」が七十七と読めることから、77歳の長寿祝いを「喜寿」と呼び始めたとされています。また、60歳を祝う還暦祝いや70歳を祝う古希祝いは、中国が発祥とされていますが、「喜寿」は、室町時代の終わり頃から祝われるようになった日本発祥のお祝いとのことでした。

私は、1949年に赤磐市町苅田で生まれ、高校から岡山に出てきました。岡山大学医学部を卒業し、今年で51年目になります。岡山大学第一内科大学院を始め、川崎病院、カナダ・トロント大学、岡山大学第一内科、岡山済生会病院を転勤し、現在は支部岡山県済生会に勤務しています。医師になってからの人生を振り返ってみますと、ポジティブ思考と好奇心で臨床・研究に従事してきました。肝臓病の研究と治療を専門にしましたが、研究と治療の進歩により、今では治すことのできる病気になったことは一番の喜びです。また、色々な出来事に遭遇しましたが、「人生、万事塞翁が馬」という諺があるように、逆境にあっても腐らず、逆に順境にあっても奢らず平常心で過ごすことが大切であると思っています。

最後に今まで支えてくれた家族や先輩・同僚・後輩に心から感謝しています。これからの人生、現在問題になっている医療の地域格差解消に微力ながら手助けをしたいと思っています。また、ゴルフでエイジシュートを夢見しています。